

エアプレス

目次

	頁
1. 各部の名称	2
2. 仕様・付属部品・別売部品	2
3. 設置・使用	3
4. 使用上の注意	4
5. 保守・点検	4

このたび、エンゼル製品をお買い置き有り難うございます。

エアプレスは、無段階加圧が簡単に誰でも行える歯科用フラスコプレスで、労力を必要とせず、連続加圧する事ができます。

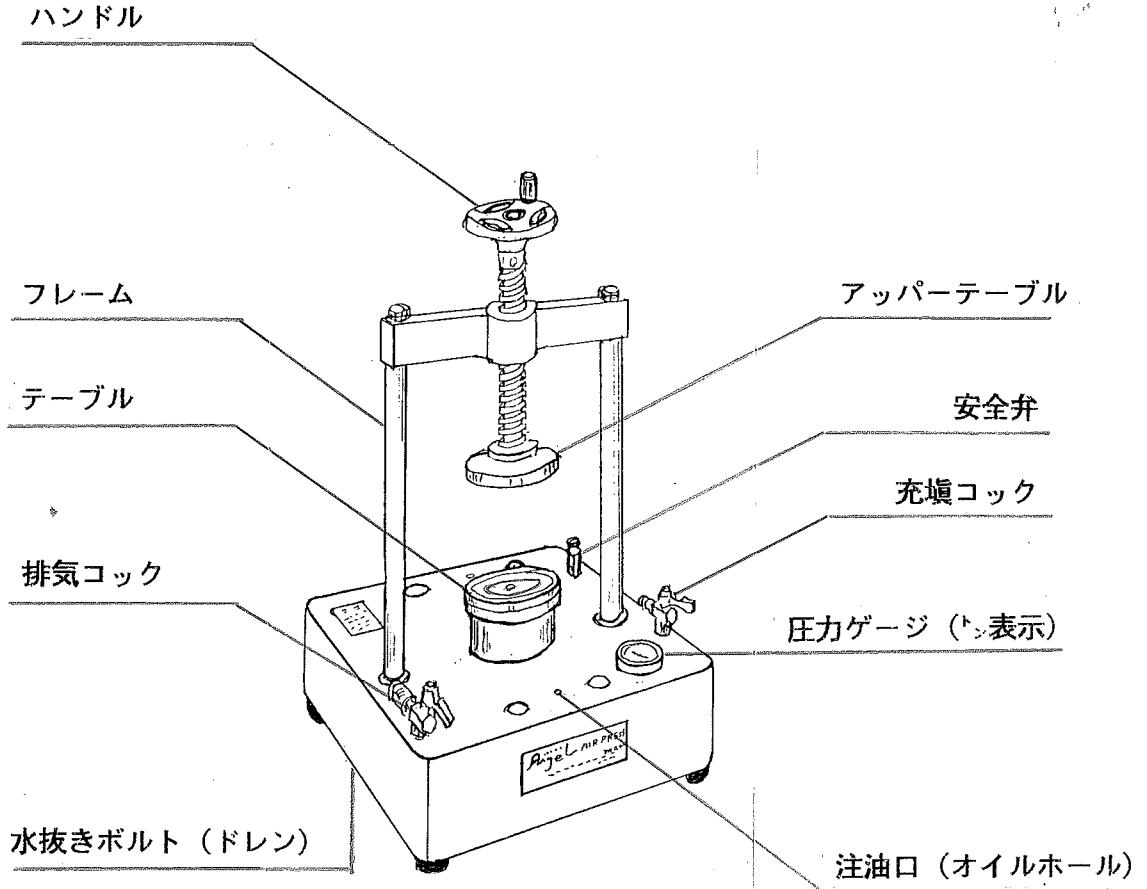
必要加圧力をエアの調整（コックの開閉）ででき、トラブルが少なく、しかも作業場を汚しません。

余剰レジンが押し出されても、尚加圧している為、加圧効果が高く、良好なレジン義歯の製作が期待されます。

45mmのピストンストロークは、注入レジンシステムにも応用でき、良好な結果を得ています。

直径110mmのアップーテーブルは、フラスコ全体に加圧する事ができ、しかもフラスコを傷める事が少なくなります。

1. 各部の名称



2. 仕様・付属品

仕様		付属部品	
寸法	W293×D252×H520 (mm)	フレーム間距離	210mm
	最高H670mm	テーブル直径	110mm (上下)
ピストン ストローク	45mm	重量	30kg
テーブル間距離	最大 195mm (無負荷時)	作動空気圧	0 ~ 6.5kg/cm ²
	最小 38mm (無負荷時)	安全弁作動	6.5kg/cm ²
		別売部品	
		キャスター	4 個
		配管ホース	1 組
		減圧コック	
		アッパーテーブル	小

3. 設置・使用

- ① 水平で、安定した所に本機を設置する。
- ② 本機を移動して使用する場合は、付属のキャスター（4個）を本体底面に取りつけて使用すると、大変便利です。
- ③ 付属の配管ホース（三叉・ジュンロンホースセット）で、本機と配管する。
- ④ フラスコ加压の場合、フラスコをテーブルの中心に置き、ハンドルを回転させ、軽く締めつける。
(フラスコは1度に5号2個又は、FRPフラスコ2個まで加压可能)
- ⑤ 充填コックを少し開けると、テーブル（ピストン）が、静に上昇する。
圧力ゲージを確認しながら、希望の圧力までエアーを充填する。
(圧力表示は下表1を参考にする)
- ⑥ エアーの充填時、排気コックを少し開けながら、エアーを充填すると、
テーブルの上昇が調整でき応用範囲が広がる。
- ⑦ 余剰レジンがフラスコより押し出され、エアー圧が多少低下するが、尚加
圧下にあるため、理想的な指摘加压が得られる。
- ⑧ 加压を繰り返す時は、充填コックを閉め、排気コックを開き、圧力の低下
(0 ψ)を待ち、④からの操作を繰り返します。
(残圧がある時は、フラスコを外したり、ハンドルを緩めると、危険です
又、本機のトラブルの原因にもなる為、絶対に行わない事)
- ⑨ 長時間加压したい場合は、排気コックを閉め、充填コックを開けて使用す
ると、良好な結果が得られる。
- ⑩ 一定圧（低圧）で本機を使用する場合、充填コックと圧力ゲージを確認し
ながら使用する方法的他に、別売の減圧コックを利用して、充填圧力を予
め設定し、使用すると大変便利です。
- ⑪ 本機使用後は、必ずエアーを全部排気する事。

表1 エアー圧とフラスコプレス（表示圧力）の関係

エ-圧力kg/cm ²	1	2	3	4	5	6	7	安全弁は 6.5kg/cm ² で作動します。 (安全弁調整禁止)
表示圧力 (ψ)	0.3	0.6	0.9	1.3	1.6	1.9	2.2	

(エアー圧が 6.4kg/cm²の時、表示圧力が2 ψ になる)

4. 使用上の注意

- ① フラスコは、必ずテーブルの中心部に置く事。
- ② 安全弁は、個人では調整しない事。（メーカーにて調整済）
- ③ 残圧がある時は、次作業に移らない事。
- ④ 本機は歯科用フラスコプレスです。
フラスコプレス以外の目的に、使用する事を禁じます。
- ⑤ フラスコなしにプレスすると、トラブルの原因になります。

5. 保守・点検

- ① 長年使用中又は、極端に寒い季節（地域）等で使用すると、テーブル（ピストン）の下降が遅くなる事があります。
（ピストン内のグリス粘度が堅くなっている）
この場合、オイルホール（注油口：本体前後中央部：2か所）のボールを押しながら、オイルを数滴注入すると、正常な状態に戻ります。
＊ 【注意】正常に作動している時は、みだりに注油しない事。
- ② 長年使用中、コンプレッサーからのエア内に水が溜まって、本機に送られる事があります。
この状態のまま、使用を続けると本体内部（ピストン部等）を腐蝕させ、本機のトラブルの原因になります。
定期的（月1回）に、本体底面の水抜きボルト（ドレーン）を外し、エアを流し、水抜きを行う事。
水抜き終了後は、必ず水抜きボルトを元に戻す事。